

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	チャイルドハート大村		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 7年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育をしている。 感覚統合遊びをしている。	発達の手台作り、感覚遊びを取り入れている。 短時間の支援時間の中で粗大運動・微細運動・机上課題に取り組んでいる。	子どもたちが楽しく取り組めるような活動、遊びをもっと見つけていく。
2	就学へ向けた支援、放課後等デイサービスへの移行	お話を聞く力、想像力を高めるよう絵本の読み聞かせ。 長期休業日の放課後等デイサービスの児童との交流遊び。	放課後等デイサービスではコグトレ（認知機能を高める学習）に積極的に取り組んでいるが、児童発達支援では十分な取り組みができていない。今後支援プログラムに取り入れていく。
3	専門職員（作業療法士）を配置しており、専門的支援を実施している。 スタッフの資質向上のための取り組み。	専門部会に参加している。 月に2回以上の専門的支援を個別・小集団で取り組んでいる。 内部・外部の研修に積極的に取り組んでいる。 法人内において専門性の高いスキルアップのための研修を行っている。	研修の内容を参加できなかったスタッフに伝達している。 研修報告書を書くことで、研修の振り返りができている。 支援者の経験を増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の様子を見る機会が少ない。	園に送迎をして子どものみの通所のため、保護者様が支援の様子を見たり、職員と直接話す機会がほとんどない。 連絡帳やライン、写真付きお便りなどで支援の様子を発信している。	保護者の仕事の都合もあるが、定期的に支援の様子を見に来ていただく機会を設ける。 児童発達支援の親子レクリエーションや保護者会が実施できていないので、今後イベントとして計画していく。
2	事業所が2階にあり、階段の上り下りに注意が必要。	主要な道路沿いにあり、交通も便利で立地は大変良いが、ビル2階にあるため階段の上り下りにご迷惑をかけている。 まだ自分で階段の上り下りができない子どもを抱き移動しているが、危険を感じる。	児童発達支援事業所において、階段のみの2階は厳しいため良い立地に転移できないか検討したい。
3	園庭がない。	子どもの足で徒歩10分くらいのところに公園はあるが、短時間の支援プログラムの日は、お出かけが難しい時がある。	活動スケジュールの調整を行い外でたくさん遊べる機会を作る。

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	チャイルドハート大村		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育をしている。 様々な活動の提案。	発達のお土作り。体幹強化につながる運動遊び。 児童の年齢、特性、日々の心身の状態を考え、小集団行動や個別活動など行っている。 遊びを取り入れた活動を計画し、楽しみながらルールの理解・順番・勝負のこだわりなどが身に付けられるよう支援している。	ボールや風船を使った遊び。 戸外（公園など）で、思いきり体を動かす。 季節のイベントや制作、自立につながるクッキングなどの活動をもっとたくさん取り入れ、社会性や将来の自立につながる支援を行っていく。
2	専門職員（作業療法士）を配置しており、専門的支援を実施している。 スタッフの資質向上のための取り組み。	専門部会に参加している。 月に2回以上の専門的支援を個別・小集団で取り組んでいる。 内部・外部の研修に積極的に取り組んでいる。 法人内において専門性の高いスキルアップのための研修を行っている。	研修の内容を参加できなかったスタッフに伝達している。 研修報告書を書くことで、研修の振り返りができている。 支援者の経験を増やしていく。
3	・保護者様との関りを大切にしている。 ・スタッフ間のコミュニケーション。	・様々な話ができるよう職員間でしっかり情報共有をしている。 送迎時にはその日の活動の様子や頑張った事などを保護者へお伝えしている。連絡帳の活用や定期的な個人面談にて、細やかに情報共有している。 ・その日のリーダーを担当制にして、ミーティングを行い、児童の様子、活動の振り返りを共有している。	・事業所で頑張った事や苦手なことにチャレンジしたことなどを、ご家庭でも取り組んで頂いている。 ・気軽に話せる雰囲気、時間を共有して共有していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあり、階段の上り下りに注意が必要。	主要な道路沿いにあり、交通も便利で立地は大変良いが、ビル2階にあるため階段の上り下りにご迷惑をかけている。	階段を上り下りする際にはスタッフが前後に立ち、見守っている。 ゴミや外からの石などで踏くことがないように、常に清掃し清潔にしている。
2	駐車場がせまい。	送迎用の車両を止めると、保護者様のお迎えの車やお客様の車を停めることができない。	近隣の駐車場を探したい。
3	研修や会議をする時間に余裕がない。	午前中に児童発達支援を行い、送迎もしているため全スタッフが参加しての研修や会議の時間が難しい。 参加できないスタッフには伝達受講としているが、充実した時間が取れない。	事業所内で行う研修などを動画記録するなど、周知・共有を徹底する。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		チャイルドハート大村		公表日		令和7年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	児発と放デイが重なる長期休業日など、部屋を分けて対応しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	人数や特性に応じて個別の対応も迅速に行えるよう余裕を持って配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	事業所が二階にあり階段を使うが、手すりが設置されています。視覚的にイラストを掲示するなど、未就学児利用者にわかりやすいよう環境設定を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々の清掃、衛生面を徹底しています。活動に応じて広いスペースを確保し、開放的・安全に取り組めるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	体調がすぐれない時、気持ちの切り替えが必要だと感じられたときは、職員が側につき目を離さない状況で対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	職員会議やミーティングで参画を図り、会議に参加できない職員には伝達周知に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価を頂き、様々なご意見を業務の改善、向上につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員面談の機会があります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者による外部評価については今後検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	内部研修、外部研修に積極的に参加しています。全職員が参加できない研修も、必ず内容を伝達・周知しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	チャイルドハートのホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	体験利用の際にアセスメントを取ります。保護者様のお子様頑張ってもらいたい所、支援を求められる面を伺い支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員みんなで意見を出し合い利用者一人一人に合った支援計画を分析し作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	しっかりと共有し計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の記録を必ず行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿った支援及び5領域に基づく支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員全員で活動プログラムの立案と実施を行っています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	固定化せず日々新しい活動も取り入れていこうと利用者のニーズ、利用頻度など鑑み取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動や集団活動における活動プログラムを設定し、日々取り組む内容を計画に記載し支援しています。	専門職員による専門的支援を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前のミーティングを必ず行い、支援担当者、前日の気づきなどを職員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	気づきや変化など職員間で共有し、次回につなげる事など共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の記録は必ず行い、その内容についても話し合い検証しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月ごとに計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者及び指導員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者様の相談を受けたときには、児発管が窓口となり関係機関とすぐに連携し、支援しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	園との定期的な会議の場を設け、情報共有を行っています。送迎の際や電話にて日々の様子など情報を共有し相互理解に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	就学してから学校の先生と情報を共有し、チャイルドハートの支援にご理解を頂いています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	頻繁には行っていないが、市内の通所部会などで助言を頂いたり勉強の機会があります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	療育内で交流活動はないが、戸外での活動などで触れ合う機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			連絡帳や電話の他、送迎時やご来所頂いたときに話をして共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	直接の支援はないが、その都度助言をして方法を提案しています。ペアトレの研修に参加しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		0	ご利用契約時に運営規定、支援プログラム、ご利用負担金についてご説明させて頂いています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児童の意見を確認するのは難しいですが、保護者様に様々な意見を伺い確認しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	支援計画内容の説明の機会を面談にて行い同意を頂いた上でご署名頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	ご不安な時、お困りのことがあったらいつでもお気軽にご相談下さるよう対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		0	児童発達支援の保護者会はまだ実施できていません。今後検討していきます。多機能型事業所のため、長期休みの時にはきょうだいで通所されている際に、交流の機会があります。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	ご相談には迅速に対応し対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		0	毎月の写真付きのお便りを配布したり、インスタグラムなどでご様子を発信しています。緊急連絡先などしっかり体制を整えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	留意しています。個人ファイル等は鍵付きの保管庫にて管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		0	聴覚障害をお持ちの保護者様との意思疎通は筆談やアプリを使ったり、モニタリング会議などの時には手話通訳様に同席をお願いしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	ご招待などの機会は持っていませんが、ニュースレターの配布や手作りのしおりを配布したりしています。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0		お便りなどで、訓練の実施をお伝えしたりマニュアルも策定し感染症の流行前には予防策や対応なども発信しています。		
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	策定しています。年2回の訓練の他、勉強会も実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		0	服薬については、ご利用時に飲まれているか、副作用など細やかに確認しています。健康状態についてはしっかり共有しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食事等の提供はないが、アレルギーの有無について十分な聞き取りはしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		0	作成しています。研修や訓練を積極的に取り組んでいます。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	保護者様からも日々の生活において、危険な行動がないか、情報を共有し相互理解に努めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		0	毎月ヒヤリハット事例検討会を実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を受け、勉強会を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		0	現在身体拘束の対象者がいませんが、研修を受けている旨など説明し、支援計画にも記載しています。	

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	チャイルドハート大村		公表日	令和7年 2月 14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	学習室、プレイルームと部屋を分け使用しています。活動に合わせて机などを移動し、配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	適切な人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	事業所が2階にあり階段を使いバリアフリーとは言えないが、手すりが設置されています。階段の上り下りには前後に職員が立ち転倒防止に配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々の清掃、おもちゃの消毒など衛生面は徹底しています。活動に応じて広いスペースを確保し開放的・安全に取り組めるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	体調がすぐれない時、気持ちの切り替えが必要だと感じられたときは、職員が側につき目を離さない状況で対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	職員会議やミーティングで参画を図り、会議に参加できない職員には伝達周知に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価を頂き、様々なご意見を業務の改善、向上につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員面談の機会があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者による外部評価については今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	内部研修、外部研修に積極的に参加しています。全職員が参加できない研修も、必ず内容を伝達・周知しています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	チャイルドハートのホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	体験利用の際にアセスメントを取ります。保護者様のお子様頑張ってもらいたい所、支援を求められる面を伺い支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員みんなで意見を出し合い利用者一人一人に合った支援計画を分析し作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	しっかりと共有し計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の記録を必ず行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿った支援及び5領域に基づく支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員全員で活動プログラムの立案と実施を行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	固定化せず日々新しい活動も取り入れていこうと利用者のニーズ、利用頻度など鑑み取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動や集団活動における活動プログラムを設定し、日々取り組む内容を計画に記載し支援しています。	専門職員による専門的支援を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前のミーティングを必ず行い、支援担当者、前日の気づきなどを職員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	気づきや変化など職員間で共有し、次回につなげる事など共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の記録は必ず行い、その内容についても話し合い検証しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月ごとに計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	学校の先生との連携、様々な活動の積み重ね、児童が自主性を持った活動など日々取り組んでいます。戸外活動へも積極的に取り組んでいます。	社会性を身に付けることができるよう、公共機関を使ったお出かけや公共施設の利用、買い物活動、クッキングなど将来像への確立につながる支援を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動の提案や進行を担うなど支援しています。おやつを購入を選択制にするなど駄菓子屋にて購入している雰囲気事業所内で行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者及び指導員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者様の相談を受けたときには、児発管が窓口となり関係機関とすぐに連携し、支援しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者様とラインを使って情報共有し、場合によっては学校に連絡し情報共有や対応ができるようしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	放課後等デイサービスご利用前に、関係機関で会議を行うなど連携に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	まだ学校卒業の利用者がいないため、評価しづらいですが、今後あることなので早めに共有できるよう致します。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	連携はあります。研修への参加は積極的に取り組み、助言も頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	直接の交流はありませんが、地域イベントの参加や公共施設などで触れ合う機会があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	必ず参加できるようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳や電話の他、送迎時やご来所頂いたときに話をして共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	直接の支援はないが、その都度助言をして方法を提案しています。ペアトレの研修に参加しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	ご利用契約時に運営規定、支援プログラム、ご利用負担金についてご説明させて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児童がどのように過ごしたいのか、目標の設定等、保護者様にも様々な意見を伺い確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	支援計画内容の説明の機会を面談にて行い同意を頂いた上でご署名頂いています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	ご不安な時、お困りのことがあったらいつでもお気軽にご相談下さるよう対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	親子レクリエーションや保護者様同士気軽に語り合える茶話会を催し、多数ご参加頂いています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	迅速かつ適切を旨として対応できるよう体制を整えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の写真付きのお便りを配布したり、インスタグラムなどで様子を発信しています。緊急連絡先などしっかり体制を整えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	留意しています。個人ファイル等は鍵付きの保管庫にて管理しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	聴覚障害をお持ちの保護者様との意思疎通は筆談やアプリを使ったり、モニタリング会議などの時には手話通訳様に同席をお願いしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	ご招待などの機会は持ていませんが、ニュースレターの配布や手作りのしおりを配布したりしています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	お便りなどで、訓練の実施をお伝えしたりマニュアルも策定し感染症の流行前には予防策や対応なども発信しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	策定しています。年2回の訓練の他、勉強会も実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	服薬については、ご利用時に飲まれているか、副作用など細やかに確認しています。健康状態についてはしっかり共有しています。てんかん発作等の対応等についても保護者様と情報を共有し体制をとっています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーをお持ちの方の情報は、しっかり把握しマニュアルも策定しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	作成しています。研修や訓練を積極的に取り組んでいます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	保護者様からも日々の生活において情報を共有し相互理解に努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎月ヒヤリハット事例検討会を実施しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を受け、勉強会を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	現在身体拘束の対象者がいませんが、研修を受けている旨など説明し、支援計画にも記載しています。	